



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月30日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー  
 コード番号 4922 URL <https://www.kose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	327,724	△1.6	40,231	△23.2	40,932	△24.2	26,682	△27.9
2019年3月期	332,995	9.8	52,408	8.3	53,976	11.3	37,004	20.9

（注）包括利益 2020年3月期 26,703百万円（△26.7%） 2019年3月期 36,427百万円（△1.3%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	467.76	—	12.3	13.4	12.3
2019年3月期	648.71	—	18.8	18.9	15.7

（参考）持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	308,606	240,202	72.5	3,920.41
2019年3月期	300,162	224,841	69.6	3,660.77

（参考）自己資本 2020年3月期 223,633百万円 2019年3月期 208,823百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	37,090	△19,006	△11,448	70,284
2019年3月期	32,989	△20,669	△10,426	64,264

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	85.00	—	95.00	180.00	10,267	27.7	5.2
2020年3月期	—	95.00	—	95.00	190.00	10,838	40.6	5.0
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—		—	

（注）2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,600	△12.5	17,200	△57.2	18,200	△55.5	12,500	△53.2	219.13

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	60,592,541株	2019年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,549,075株	2019年3月期	3,549,024株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	57,043,493株	2019年3月期	57,043,584株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	146,482	△5.6	4,234	△72.5	19,177	△35.5	17,180	△32.5
2019年3月期	155,244	14.2	15,399	34.1	29,728	48.5	25,445	70.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	301.18	—
2019年3月期	446.08	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	163,666		126,475		77.3		2,217.18	
2019年3月期	166,430		119,441		71.8		2,093.87	

(参考) 自己資本 2020年3月期 126,475百万円 2019年3月期 119,441百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	6
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	7
2. 経営方針 .....	8
(1) 会社の経営の基本方針 .....	8
(2) 目標とする経営指標 .....	8
(3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題 .....	8
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	9
4. 連結財務諸表 .....	10
(1) 連結貸借対照表 .....	10
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	12
連結損益計算書 .....	12
連結包括利益計算書 .....	13
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	14
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	16
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	18
(継続企業の前提に関する注記) .....	18
(連結損益計算書関係) .....	18
(表示方法の変更) .....	18
(セグメント情報等) .....	18
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

## ① 当期の経営成績

## (a) 概況

セグメントの名称	2019年3月期		2020年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
化粧品事業	254,965	76.6	251,894	76.9	△3,071	△1.2
コスメタリー事業	74,632	22.4	71,912	21.9	△2,719	△3.6
その他	3,398	1.0	3,916	1.2	518	15.3
売上高計	332,995	100.0	327,724	100.0	△5,271	△1.6

区分	2019年3月期		2020年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	52,408	15.7	40,231	12.3	△12,176	△23.2
経常利益	53,976	16.2	40,932	12.5	△13,044	△24.2
親会社株主に帰属する当期純利益	37,004	11.1	26,682	8.1	△10,322	△27.9

当期における日本経済は、相次ぐ自然災害の影響などで弱さがみられる中、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、足元では新型コロナウイルス感染症の影響により、大変厳しい状況にあります。

化粧品業界におきましては、2019年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数・販売金額ともに前年と比べ増加しました。また、海外において当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済につきましては、アジアでは一部で景気減速もみられましたが、米国では景気回復の動きが続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、創業80周年に向けて更なる成長ステージを目指した中長期ビジョン「VISION 2026」を掲げ、企業の成長を支える強い経営基盤をベースとしながら、そのリソースを最大限に活用し、独自の価値創造を絶えず行っていくことにより、グローバルかつボーダレスな成長を目指してきました。

当期における当社グループの業績につきましては、アジアの販売は引き続き好調に推移しましたが、日本においてインバウンド売上の減少や消費増税に伴う駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、売上高は前年同期比1.6%減の327,724百万円(為替の影響を除くと0.5%減)となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は32.1%となりました。

利益につきましては、売上高の減少と販売費及び一般管理費は増加しましたが、厳しい環境下でも利益を確保できるよう努めた結果、営業利益は40,231百万円(前年同期比23.2%減)となりました。また、為替差損が発生した一方で、受取利息、還付消費税等の発生により、経常利益は40,932百万円(同24.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は26,682百万円(同27.9%減)となりました。

(b) セグメント別の状況  
化粧品事業

区分		2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	254,965	251,894	△3,071	△1.2
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	254,965	251,894	—	—
営業利益	百万円	51,401	44,663	△6,737	△13.1
営業利益率	%	20.2	17.7	—	—

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、「デコルテ」「インフィニティ」「雪肌精みやび」等はプラス成長となりましたが、(株)アルビオン及び米国タルト社がマイナス成長となりました。また、プレステージ領域におきましては、メイクブランドの「エスプリーク」はプラス成長となりましたが、「雪肌精」等がマイナス成長となりました。これらの結果、当事業の売上高は251,894百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は44,663百万円(同13.1%減)となりました。

## コスメタリー事業

区分		2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	74,632	71,912	△2,719	△3.6
セグメント間の売上高	百万円	753	—	—	—
売上高計	百万円	75,385	71,912	—	—
営業利益	百万円	5,043	211	△4,832	△95.8
営業利益率	%	6.7	0.3	—	—

コスメタリー事業につきましては、「スティーブンノル ニューヨーク」及びコーセーコスメポート(株)が展開するヘアケアブランド「ピオリス」やエイジングケアブランド「グレイスワン」等は好調に推移しましたが、「クリアターン」のインバウンド売上が減少、「リンメル」の販売ライセンス終了による影響や、「ヴィセ」等のメイクブランドがマイナス成長となった結果、売上高は71,912百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は売上原価及び販売費が増加したことにより211百万円(同95.8%減)となりました。

## その他

区分		2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	3,398	3,916	518	15.3
セグメント間の売上高	百万円	721	594	—	—
売上高計	百万円	4,119	4,511	—	—
営業利益	百万円	1,537	1,283	△254	△16.5
営業利益率	%	37.3	28.4	—	—

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は3,916百万円(前年同期比15.3%増)、営業利益は売上原価が増加したことにより1,283百万円(同16.5%減)となりました。

## (C) 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)の状況

	2019年3月期		2020年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	240,202	72.1	222,550	67.9	△17,652	△7.3
アジア	51,474	15.5	64,353	19.6	12,878	25.0
北米	37,546	11.3	35,897	11.0	△1,649	△4.4
その他	3,772	1.1	4,923	1.5	1,151	30.5
売上高計	332,995	100.0	327,724	100.0	△5,271	△1.6

## &lt;日本&gt;

日本市場につきましては、アジア市場での販路拡大や為替の影響などにより日本でのインバウンド売上が減少したことに加え、上述の通り、大雨・台風などの自然災害の影響や、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主要な販売チャネルにおいてマイナス成長となりました。

百貨店チャネルでは、「デコルテ」や㈱アルピオン等のハイプレステージ領域のブランド、ドラッグストアチャネルやGMSチャネルでは、「雪肌精」等のプレステージ領域のブランドに加え、「ヴィセ」等のメイクブランドを中心にコスメタリー事業ブランドの売上が減少しました。これらの結果、売上高は222,550百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

## &lt;アジア&gt;

アジア市場につきましては、各国における既存チャネルの育成に加え、免税店やEコマースなど新販路の開拓を強化することにより、インバウンド市場との連携を図るなど、グローバルかつボーダレスなお客さまづくりを推進しました。中国からの観光客減少等により台湾・香港はマイナス成長となりましたが、免税チャネルが好調な韓国、百貨店・Eコマースともに高成長が続いた中国が売上を牽引した結果、売上高は64,353百万円(同25.0%増)となりました。

## &lt;北米&gt;

北米市場につきましては、百貨店チャネルを中心に推進した「デコルテ」育成のほか、米国タルト社は、「マスカラ」や「コンシーラー」などカテゴリーごとの製品展開の強化、「Clean Beauty」市場への対応など、新たな顧客層の拡大に取り組みましたが、プレステージメイク市場の厳しい環境の影響を受けマイナス成長となり、売上高は35,897百万円(同4.4%減)となりました。

## &lt;その他&gt;

その他の地域につきましては、米国タルト社による欧州展開が順調に推移した結果、売上高は4,923百万円(同30.5%増)となりました。

② 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、日本をはじめ世界全体で、厳しい経済状態が続くと想定されます。各国でのロックダウン、外出自粛要請、渡航規制などのウィルス封じ込め策により、消費者の行動範囲・機会が縮小し、事業活動が制約されることで、需要、供給両面での経済活動が大きく抑制されております。その結果、消費マインドや、雇用・所得環境の悪化により、経済低迷の長期化も懸念されております。

これらの状況を踏まえ、次期の業績につきましては、売上高286,600百万円(前年同期比12.5%減)、営業利益17,200百万円(同57.2%減)、経常利益は18,200百万円(同55.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は12,500百万円(同53.2%減)を予想しております。事業の種類別セグメントの見通しにつきましては、上述の通り、不透明な経営状態が続くことが見込まれ、合理的に算出することが困難なため、現時点での公表は控えさせていただきます。また、設備投資24,300百万円、減価償却費11,900百万円を見込んでおります。

尚、従来より開示しておりました3ヵ年ベースの経営計画につきましては、次期より中長期ビジョン「VISION 2026」に包含することとし、今後、「VISION 2026」に変更が発生した場合は、速やかに開示いたします。

※主要な為替レートにつきましては、107円/米ドル、15.2円/中国元、0.09円/韓国ウォンを想定しております。

## (2) 財政状態に関する分析

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当期末の流動比率は342.6%、当座比率は227.8%であり、前期末に比べそれぞれ32.1ポイントの増加、17.3ポイントの増加となりました。主な理由は下記のとおりであります。

資産は、前期末に比べ8,443百万円の増加となりました。現金及び預金の増加3,171百万円、受取手形及び売掛金の減少6,401百万円等により当座資産が3,230百万円減少し、流動資産は802百万円減少しました。有形固定資産の増加9,125百万円、無形固定資産の減少895百万円、投資その他の資産の増加1,015百万円により固定資産は9,246百万円増加しました。

負債は、前期末に比べ6,917百万円の減少となりました。支払手形及び買掛金の減少3,567百万円、電子記録債務の減少3,572百万円、未払費用の増加1,580百万円、未払法人税等の減少3,429百万円等により流動負債が6,430百万円減少しました。固定負債は、リース債務の減少124百万円等により486百万円の減少となりました。

なお、有利子負債残高は1,654百万円、デット・エクイティ・レシオは0.01倍となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況に関する分析

	2019年3月期 (百万円)	2020年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,989	37,090	4,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,669	△19,006	1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,426	△11,448	△1,022
現金及び現金同等物の増加額	380	6,019	5,638
現金及び現金同等物期末残高	64,264	70,284	6,019

当期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末より6,019百万円増加し70,284百万円（前年同期比9.4%増）となりました。当期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、37,090百万円の収入（同12.4%増）となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益40,365百万円、非資金費用である減価償却費8,838百万円、たな卸資産の増加822百万円、売上債権の減少6,252百万円、その他の資産の減少1,389百万円、仕入債務の減少6,121百万円、その他負債の増加3,037百万円及び法人税等の支払い17,150百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、19,006百万円の支出（同8.0%減）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出17,980百万円、定期預金の減少による純収入2,805百万円、無形固定資産の取得による支出1,894百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11,448百万円の支出（同9.8%増）となりました。主な要因は配当金の支払い11,322百万円等であります。



## ③ キャッシュ・フロー関連指標の推移

		2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率	%	63.2	66.3	68.1	69.6	72.5
時価ベースの自己資本比率	%	267.8	232.4	469.9	386.4	246.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	倍	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	倍	1,285.9	5,133.3	9,274.6	23,555.3	3,942.6

注) 自己資本比率……………自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率……………株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率…有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ……キャッシュ・フロー（利息・法人税等控除前）／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

なお、期末を基準日とする株式分割があった場合には、期末株価終値を修正しております。

※ キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分に関しましては、安定配当を基本としておりますが、今後の事業拡大のための内部資金の確保に配慮しつつ、財政状態、業績、配当性向等を勘案し、株主への利益還元に取り組んでいく方針であります。

当期の期末配当につきましては、1株につき普通配当95円を予定しております。2019年12月10日付で、1株につき95円の間配当を実施しておりますので、年間配当は190円になります。

次期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます、合理的な予想の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、お客様に心から満足していただける優れた品質の化粧品とサービスを提供したい、という信念のもとに経営に取り組んでまいりました。この思いは、画期的なファンデーションや業界初的美容液などの創造的な化粧品を生み出す研究開発力や生産技術力、生活者ニーズに合ったブランドを様々な販売チャネルを通じてお客様に提供する「独自のブランドマーケティング」の展開などに具現化され、発展の原動力にもなっております。

当社グループは、今後もこれら3つの強みを最大限に発揮し、「世界で存在感のある企業への進化」を目指し、事業運営を行ってまいります。

コーセーグループの将来像「世界で存在感のある企業への進化」

目指す姿「究極の高ロイヤリティ企業」～魅力に溢れるブランドで埋め尽くされたポートフォリオ～

- (1) 憧れの存在・・・誰もが知っていて、誰もが憧れ、誰からも一目置かれる存在
- (2) 唯一無二の存在・・・オリジナリティが高く、他社のどことも似ていない“孤高”の存在
- (3) かけがえのない存在・・・リピート率や顧客固定化率が高く、顧客にとって「なくてはならない」存在

また同時に、法令等遵守の徹底やサステナビリティへの取り組みに一層注力することで、社会的責任を果たしてまいります。

### (2) 目標とする経営指標

当社グループは、売上高営業利益率及び総資産事業利益率（ROA）、自己資本当期純利益率（ROE）の向上を重要な経営指標としております。

注）総資産事業利益率＝（営業利益＋受取利息、配当金）／総資産（期首期末平均）×100

自己資本当期純利益率＝親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本（期首期末平均）×100

### (3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、創業80周年に向けて更なる成長ステージを目指した中長期ビジョン「VISION 2026」を推進しております。

「VISION 2026」では、売上高500,000百万円、営業利益率16%以上を経営目標とし、その実現に向けたロードマップとして、「グローバルブランド拡充と顧客接点の強化（Phase I）」、「世界での存在感拡大と更なる顧客体験の追求（Phase II）」、「世界のひとりひとりに存在感のある顧客感動企業への進化（Phase III）」の3つのフェーズを経て、世界で存在感のある企業への進化を目指してまいります。

2018年4月に掲げた以下基本戦略のもと、引き続き「グローバルブランド拡充と顧客接点の強化（Phase I）」に取り組んでまいります。

「VISION 2026」 3つのフェーズ

- ・Phase I 「グローバルブランド拡充と顧客接点の強化」（2018年4月～2021年3月）
- ・Phase II 「世界での存在感拡大と更なる顧客体験の追求」（2021年4月～2024年3月）
- ・Phase III 「世界のひとりひとりに存在感のある顧客感動企業への進化」（2024年4月～2027年3月）

「VISION 2026」 基本戦略

#### ① 3つの成長戦略

- 1) ブランドのグローバル展開加速
- 2) 独自性のある商品の積極的開発
- 3) 新たな成長領域へのチャレンジ

#### ② 2つの価値追求

- 1) デジタルを活用したパーソナルな顧客体験の追及
- 2) 外部リソースや技術と連携した独自の価値追求

#### ③ 3つの経営基盤

- 1) 企業の成長を支える経営基盤の構築
- 2) ダイバーシティ&インクルージョン経営の実践
- 3) バリューチェーン全体にわたるサステナビリティ戦略の推進

### 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、中長期的な会社の経営戦略に掲げるとおり、世界で存在感のある企業への進化を目指す過程において、国内外の諸情勢を考慮の上、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上や海外における信用力向上等を目的とし、将来のIFRS適用に向けて研究を重ねています。

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	94,385	97,556
受取手形及び売掛金	44,773	38,371
商品及び製品	34,121	35,775
仕掛品	3,005	3,472
原材料及び貯蔵品	23,655	22,192
その他	5,383	7,146
貸倒引当金	△83	△77
流動資産合計	205,241	204,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,960	45,590
減価償却累計額	△21,303	△22,671
建物及び構築物(純額)	19,657	22,919
機械装置及び運搬具	17,012	18,543
減価償却累計額	△12,299	△13,290
機械装置及び運搬具(純額)	4,713	5,252
工具、器具及び備品	39,199	43,151
減価償却累計額	△32,097	△34,581
工具、器具及び備品(純額)	7,101	8,570
土地	17,566	17,569
リース資産	1,954	2,000
減価償却累計額	△1,117	△1,356
リース資産(純額)	837	643
建設仮勘定	7,020	11,068
有形固定資産合計	56,896	66,022
無形固定資産		
ソフトウェア	2,296	3,245
のれん	6,675	5,794
その他	6,697	5,733
無形固定資産合計	15,669	14,774
投資その他の資産		
投資有価証券	11,664	13,433
繰延税金資産	7,574	6,272
その他	3,361	3,900
貸倒引当金	△245	△236
投資その他の資産合計	22,355	23,370
固定資産合計	94,921	104,167
資産合計	300,162	308,606

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,764	6,196
電子記録債務	19,086	15,513
短期借入金	600	727
リース債務	228	214
未払金	14,371	13,086
未払費用	10,716	12,296
未払法人税等	7,661	4,232
未払消費税等	632	1,537
返品調整引当金	2,132	1,967
その他	913	3,903
流動負債合計	66,107	59,676
固定負債		
リース債務	837	712
役員退職慰労引当金	2,846	3,334
退職給付に係る負債	4,435	4,346
その他	1,094	332
固定負債合計	9,213	8,727
負債合計	75,321	68,403
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	—	15
利益剰余金	207,821	223,665
自己株式	△9,102	△9,103
株主資本合計	203,566	219,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,750	4,434
為替換算調整勘定	1,781	1,063
退職給付に係る調整累計額	△275	△1,289
その他の包括利益累計額合計	5,256	4,208
非支配株主持分	16,018	16,569
純資産合計	224,841	240,202
負債純資産合計	300,162	308,606

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	332,995	327,724
売上原価	88,608	88,703
売上総利益	244,387	239,020
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	23,473	21,468
販売促進費	61,439	65,447
運賃及び荷造費	14,030	15,236
給料及び手当	48,383	50,820
退職給付費用	1,288	786
法定福利費	7,393	7,627
減価償却費	3,757	4,047
その他	32,211	33,355
販売費及び一般管理費合計	191,979	198,789
営業利益	52,408	40,231
営業外収益		
受取利息	513	551
受取配当金	137	111
受取手数料	—	54
還付消費税等	—	185
特許実施許諾料	38	16
為替差益	574	—
補助金収入	—	85
雑収入	455	390
営業外収益合計	1,720	1,394
営業外費用		
支払利息	2	7
有価証券償還損	10	—
不動産賃貸費用	4	4
支払手数料	13	13
投資事業組合運用損	87	62
為替差損	—	517
雑損失	33	87
営業外費用合計	151	693
経常利益	53,976	40,932
特別利益		
固定資産売却益	3	9
投資有価証券売却益	2	1
関係会社株式売却益	925	—
事業整理益	※ 796	115
特別利益合計	1,727	127
特別損失		
固定資産処分損	463	419
投資有価証券評価損	9	147
関係会社株式評価損	173	51
減損損失	108	76
特別損失合計	754	693
税金等調整前当期純利益	54,949	40,365
法人税、住民税及び事業税	17,310	11,104
法人税等調整額	△1,363	1,427
法人税等合計	15,946	12,532
当期純利益	39,002	27,833
非支配株主に帰属する当期純利益	1,997	1,151
親会社株主に帰属する当期純利益	37,004	26,682

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	39,002	27,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	679
為替換算調整勘定	△2,362	△734
退職給付に係る調整額	△309	△1,074
その他の包括利益合計	△2,575	△1,129
包括利益	36,427	26,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	34,440	25,634
非支配株主に係る包括利益	1,986	1,069

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,848	180,514	△9,098	176,263
当期変動額				
剰余金の配当		△9,697		△9,697
親会社株主に帰属する当期純利益		37,004		37,004
自己株式の取得			△4	△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	27,307	△4	27,303
当期末残高	4,848	207,821	△9,102	203,566

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,651	4,098	70	7,820	14,523	198,607
当期変動額						
剰余金の配当						△9,697
親会社株主に帰属する当期純利益						37,004
自己株式の取得						△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	99	△2,317	△346	△2,564	1,495	△1,068
当期変動額合計	99	△2,317	△346	△2,564	1,495	26,234
当期末残高	3,750	1,781	△275	5,256	16,018	224,841



当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,848	—	207,821	△9,102	203,566
当期変動額					
剰余金の配当			△10,838		△10,838
親会社株主に帰属する当期純利益			26,682		26,682
自己株式の取得				△0	△0
合併による増加		15			15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	15	15,844	△0	15,858
当期末残高	4,848	15	223,665	△9,103	219,425

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,750	1,781	△275	5,256	16,018	224,841
当期変動額						
剰余金の配当						△10,838
親会社株主に帰属する当期純利益						26,682
自己株式の取得						△0
合併による増加						15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	683	△717	△1,014	△1,047	550	△497
当期変動額合計	683	△717	△1,014	△1,047	550	15,360
当期末残高	4,434	1,063	△1,289	4,208	16,569	240,202

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	54,949	40,365
減価償却費	8,018	8,838
減損損失	108	76
のれん償却額	805	795
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37	△12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	333	487
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,147	△1,104
その他の引当金の増減額(△は減少)	199	120
固定資産処分損益(△は益)	459	409
受取利息及び受取配当金	△651	△662
支払利息	2	7
為替差損益(△は益)	△180	345
有価証券償還損益(△は益)	10	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	△1
関係会社株式売却損益(△は益)	△925	—
関係会社株式評価損	173	51
投資有価証券評価損益(△は益)	9	146
投資事業組合運用損益(△は益)	87	62
事業整理益	△796	△115
売上債権の増減額(△は増加)	△3,795	6,252
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,377	△822
仕入債務の増減額(△は減少)	2,668	△6,121
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,388	1,389
その他の負債の増減額(△は減少)	440	3,037
その他	—	0
小計	49,041	53,547
利息及び配当金の受取額	622	706
利息の支払額	△2	△13
事業整理に伴う補償金の受取	796	—
法人税等の支払額	△17,469	△17,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,989	37,090
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△32,232	△30,237
定期預金の払戻による収入	29,573	33,042
有価証券の売却及び償還による収入	520	—
有形固定資産の取得による支出	△15,191	△17,980
有形固定資産の売却による収入	95	12
有形固定資産の除却による支出	—	△79
無形固定資産の取得による支出	△1,910	△1,894
投資有価証券の取得による支出	△1,099	△950
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	2
子会社株式の取得による支出	△395	△283
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	678	—
貸付けによる支出	—	△153
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△709	△485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,669	△19,006

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	123
自己株式の純増減額(△は増加)	△4	△0
配当金の支払額	△9,697	△10,838
非支配株主への配当金の支払額	△492	△483
子会社の自己株式の取得による支出	—	△19
その他	△232	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,426	△11,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,512	△615
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380	6,019
現金及び現金同等物の期首残高	63,883	64,264
現金及び現金同等物の期末残高	64,264	70,284

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※ 事業整理益

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社のリンメルブランドのライセンス事業につきましては、2018年10月31日をもってCoty Inc.とのライセンス契約を終了し、これに伴い、リンメルブランドの販売活動を行ってございました連結子会社である株式会社コスメディックの清算を決議いたしました。契約終了に伴う受取補償金から子会社清算損を差し引いた金額を事業整理益として計上しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「特別損失」の「その他」に含めておりました「投資有価証券評価損」は、特別損失の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「その他」に表示していた9百万円は、「投資有価証券評価損」9百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「投資有価証券評価損益(△は益)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた9百万円は、「投資有価証券評価損益(△は益)」9百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、お客様の多様なニーズに適合した製品を市場に提供するため、当社グループで企画・開発した製品を各種ブランドにより展開しており、各ブランドごとに国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は各ブランドを基礎とした事業別セグメントから構成されており、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」に属する主要製品には、コーセー・雪肌精・エスプリーク・コスメデコルテ・プレディア・インフィニティ・ジルスチュアート・アディクション・クリエ・アルピオン・タルト等が、「コスメタリー事業」に属する主要製品には、ヴィセ・ファシオ・エルシア・ソフティモ・サンカット®・クリアターン・スティーブンノルニューヨーク等があります。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	254,965	74,632	329,597	3,398	332,995	—	332,995
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	753	753	721	1,474	△1,474	—
計	254,965	75,385	330,351	4,119	334,470	△1,474	332,995
セグメント利益	51,401	5,043	56,444	1,537	57,982	△5,574	52,408

## 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	251,894	71,912	323,807	3,916	327,724	—	327,724
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	594	594	△594	—
計	251,894	71,912	323,807	4,511	328,319	△594	327,724
セグメント利益	44,663	211	44,875	1,283	46,158	△5,926	40,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	78	28
各報告セグメントに配分していない全社費用	△5,652	△5,955
合計	△5,574	△5,926

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (4) 地域に関する売上高情報

## 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
240,202	51,474	37,546	3,772	332,995

## 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
222,550	64,353	35,897	4,923	327,724

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,660.77円	3,920.41円
1株当たり当期純利益金額	648.71円	467.76円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 金額	百万円	37,004	26,682
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益金額	百万円	37,004	26,682
普通株式の期中平均株式数	千株	57,043	57,043

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。